

平成 24 年度第 1 回理事会・新旧合同理事会

日時：5 月 19 日(土) 15:00-18:00

場所：地震研究所 2 号館第 2 会議室

出席者：中田節也（会長）、篠原宏志（副会長）、井口正人、宇都浩三、金子隆之、寅丸敦志、中村洋一、林信太郎、藤田英輔、星住英夫、松島健、森俊哉（以上 現理事）

下司信夫、萬年一剛、山里平（以上、次期理事）

議題

【報告事項】

1. 理事選挙結果報告

選挙委員会より次期理事選挙結果の報告があった。定員内の 14 名の立候補だったため会員投票は行わず、立候補者 14 名を総会に諮る事が報告された。次期理事候補者 14 名は次のとおり。

井口正人（京大防災研）、宇都浩三（産総研）、大湊隆雄（地震研）、金子隆之（地震研）、下司信夫（産総研）、高田 亮（産総研）、寅丸敦志（九大院理）、中田節也（地震研）、中村洋一（宇都宮大）、藤田英輔（防災科研）、星住英夫（産総研）、萬年一剛（温地研）、森 俊哉（東大院理）、山里 平（気象庁）

2. 各委員会報告

庶務委員会（大湊）

- ・会員数 秋季学会以降の会員数について報告があった。総会終了後の会員数は、維持 276 名、学術 677 名、一般 40 名、団体 15、名誉 8 の計 1016 名であり、微減傾向が続いている。

編集委員会（寅丸）

- ・火山発行状況 56-4.5 合併号(2011 9/30)、56-6 号(2011 12/31)、57-1 号(2012 3/30)
- ・57-2 号(2012 6/30 予定)の通常論文が 0、追悼文のみであり、査読を早めるか発行を遅らせる等の対応が必要との議論があった。
- ・査読状況 16 編査読中
- ・桜島火山特集号 25 件(論説 21、総説 1、寄書 2、解説紹介 1) 7 件受理、1 件取下。
- ・投稿規定の変更 安田氏の尽力により HP からの電子投稿が可能になった。投稿規定を、HP からの投稿を推奨に変更。

大会委員会（松島）

- ・ 2012 連合大会の火山関連がセッション数 10, 講演数 261 件であることが報告された.

・ 2012 年秋季大会

会場 エコール御代田

LOC 地震研+日大

主催・共催 火山学会+浅間縄文ミュージアム

日程 学術講演会 2012 年 10/14-10/16

関連行事 10/13 火山防災シンポ, 子供向け公開講座, 現地討論会 (浅間)

10/16-17 現地討論会 (草津白根)

その他 科研により小林市, 霧島市でも子供向け公開講座を実施 (12/8-9)

・ 2013 年秋季大会

会場 福島県猪苗代町 体験交流館 学びいな

LOC 磐梯山噴火記念館, 防災科技研, 宇都宮大, 日大

共催 猪苗代町+2 周辺自治体にも働きかけ

後援 磐梯山ジオパーク協議会 or 磐梯山火山防災連絡会

日程 学術講演会 2013 年 10/6-8

関連行事 10/5 火山防災シンポジウム, 子供向け公開講座 前後に現地討論会

・ 2014 年未定

事業委員会（星住）

- ・ ロゴマーク普及の継続. マグカップ以外の新グッズ検討開始.

ロゴマークの著作権関係手続きは至急完了する予定.

- ・ 子供サマースクール 2012 糸魚川市 2012 年 8/18-19

地震, 火山, 地質 3 学会+糸魚川ジオパーク の 4 者

子ども夢基金助成内定 (95 万), 火山学会 20 万助成 (地震学会 30 万, 地質学会 20 万)

各賞委員会（篠原）

- ・ 火山学会賞 応募なし 2 年に 1 件程度の割合で出したい. 常日頃から候補者探しを心がける必要あり.
- ・ 研究奨励賞 応募 1 件を決定 (メール審議で承認済み)
- ・ 論文賞 1 件決定 (メール審議で承認済み)

国際委員会（藤田）

- ・ IAVCEI2013 の準備状況は IAVCEI 実行委員会より報告
- ・ 学術会議 IAVCEI 小委員会関連, 地球惑星科学連合国際委員会の動向について報告があり, 連合学会の国際セッション優遇の姿勢に行き過ぎがあるとの意見があった.

学校教育委員会（林）

・昨年 10 月の旭川での公開講座におけるアンケート結果の詳細が報告された。アンケートに加えてこどもの「つぶやき」を丁寧に拾うことにより、子どもの取り組み方、感じ方、理解度などが明らかになった。

IAVCEI2013 実行委員会（篠原）

- ・業者が近畿日本ツーリスト九州 鹿児島支店に決まり、契約手続きを進めている。
- ・2011 年度決算、2012 年度予算、全体の資金計画が報告された。
- ・68 セッションの提案を 48 に絞るよう、調整中。
- ・登録料の概要。IAVCEI への上納金が必要となり、投稿料 4000 円を加えた。
- ・巡検については、責任体制がはっきりさせるため旅行業者実施とする。責任体制が確認できないものは IAVCEI の巡検とせず、別巡検として紹介。
- ・今後の予定： 9 月応募開始、2013 年 1 月×切、4 月早期登録締め切り、7/19-25 本番

他学会関連（金子、中田）

- ・EPS 関連 協力金 20 万、科研費採択（860 万、単年度）、電子投稿開始

EPS を連合の雑誌にするか否かを検討中。文科省の科研費ポリシーの大幅変更に対応する必要あり。EPS 新編集長候補者として、火山学会から東工大の小川康雄氏を推薦。（小川氏は電磁気学会からも推薦を受けている。）

防災委員会（中村）

- ・昭文社の「災害大百科」出版へ協力を始めた。

【審議事項】

1. 平成 23 年度の財務報告

承認された。

2. 平成 24 年度の予算計画

承認された。

平成 24 年度予算の印刷費に関連して、桜島特集号の形態について議論があった。「特集号」という独立した冊子にはせず、通常の火山の「特集」と言う形にすることに決まった。この方が、「火山」を購読している全ての機関に行き渡り、引用もし易い、というメリットがある。IAVCEI 会場では電子媒体（DVD?USB メモリー）の形で配布。火山の「特集」のカ

バーだけ変えた冊子体の配布も検討.

3. 会長・副会長選出, 各担当理事の決定

- ・理事互選により, 会長 宇都浩三氏, 副会長 井口正人氏を総会に諮ることになった.
- ・次期各担当理事を以下のように決定した.

庶務一大湊, 編集一寅丸, 大会一下司, 財務一森, 事業一星住, 他学会一金子, 各賞一高田, 国際一藤田, 学校教育一萬年, 将来計画一字都, 火山防災一中村

- ・監事 監事は引き続き, 富樫, 渡辺両氏に依頼することになった.

4. 各賞受賞候補者承認 メール承認済み

5. 新入会員 7名+1件を承認した.

以上